



伊倉っ子  
だより

### 【学校教育目標】

豊かな心と確かな学力を身に付け、  
心身ともにたくましく生きる  
児童の育成

伊倉小学校だより

第6号

令和8年6月30日

文責：校長 須藤 隆

## か・お・つ・や!~6月8日児童集会より~

昨年度の学校だよりでも紹介しましたが、本校には4~6年生で構成される9つの委員会があります。委員会活動は、学校のみんなのために役割を担い、自分たちで考え行動することで、責任感や協力する力、主体性を育む大切な活動です。

本校では月に1回、昼の活動の時間に「児童集会」を開き、各委員会が活動紹介や全校への呼びかけを行っています。6月8日は企画委員会が発表しました。

企画委員会は、児童集会や行事の司会・運営、代表委員会や募金活動など、学校の中心となって活躍しています。今回は、4月に私が子供たちへ話した「4つの力」をテーマにした劇を披露してくれました。

劇では、宇宙人が伊倉小学校を訪れ、「思いやる力」と「やりぬく力」について学んでいきます。荷物を持つ友達を手伝ったり、転んだ友達に優しく声をかけたりする姿を見た宇宙人は、「思いやる力」があると笑顔や「ありがとう」の言葉が増え、悲しい気持ちが減ることに気付きます。見ていた子供たちも劇を通して、思いやりの大切さを改めて感じ、自分も実践しようという気持ちを高めていました。

ちなみに、見出しの「か・お・つ・や」は、「か：考える力」「お：思いやる力」「つ：伝える力」「や：やりぬく力」の頭文字です（子供たちが覚えやすいようにと伊倉小の先生たちが考えてくれました）。これからも子供たちが、この4つの力を日々の学校生活の中で育んでくれることを願っています。



「思いやる力」の発表の様子



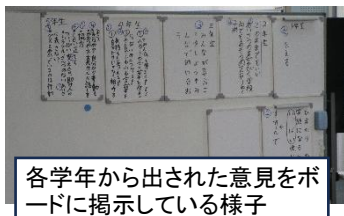
「やりぬく力」の発表の様子

## 令和8年度伊倉小学校仲良し宣言文

代表委員会の様子



各学年から出された意見をボードに掲示している様子



本校では、子供たち一人一人が安心して学校生活を送り、「学校が楽しい」と感じられる学校づくりを大切にしています。そのために欠かせないのが、相手を思いやり、自分も友達も大切にする心です。

各委員会の委員長が参加し、企画委員会が司会進行をする代表委員会で話し合い、「令和8年度 伊倉小学校仲良し宣言文」を作成しました。事前に各学年で話し合った内容をもとに、委員長が意見を出し合いながら「みんなが笑顔で過ごせる学校」にするために真剣に考え、自分たちの言葉で宣言をまとめました。まさに、子供たち自身の願いや決意が込められた宣言文です。

しかし、大切なのは、宣言を作るのではなく、毎日の生活の中で実践することです。一人一人の温かい言葉や行動が、安心して過ごせる学校につながります。

学校では、これからも「仲良し宣言文」を合言葉に、互いを認め合い、思いやりのある学校づくりを進めていきます。ご家庭でも、お子様と宣言の内容について話し合い、学校での出来事に耳を傾けていただければ幸いです。学校と家庭が力を合わせ、笑顔あふれる伊倉小学校を築いていきたいと思ひます。



なかよ せんげんびん  
**R8 仲良し宣言文**

- ① みんなで協力し、仲の良い、笑顔いっぱい、思いやりあふれる伊倉小にしよう。
- ② だれにでも、笑顔で元気になる言葉を使い、みんなを明るくしよう。
- ③ 相手と自分の気持ちを大事にして、いけないことは行動にうつさず、みんなで助け合おう。
- ④ 一生けんめい話を聴きながら、自分から「考動」できる伊倉っ子になろう。

R8.6.24 代表委員会

みんなで決めたR8仲良し宣言文

